令和8年度 獨協医科大学大学院看護学研究科
博士前期課程入学試験 問題用紙

試験時間 60 分

小論文		試験施行日	令和８年２月２８日（土）	
受験番号		氏　名		

問題１．次の文章を読み、設問に答えてください。

我が国における少子・高齢化は、他の先進国と比べてそのスピードが非常に早く、従来の制度のままでは様々な問題が生じる。

Society 5.0 は、日本が直面する少子高齢化、環境制約、地域格差といった社会課題を、デジタル技術の力で解決しようとする国家戦略であり、医療・看護の領域でも活用が期待され、ロボットや人工知能(AI)の開発と社会的実装の研究が推進されている。

少子高齢化が進む日本において、限られた医療資源を補完し、質の高い医療を維持するために AI の活用は不可欠である。しかし、AI が医療の一部を担うようになったからこそ、患者の尊厳や安全を守るための看護師の倫理的判断がこれまで以上に重要な課題となっている。

問１．医療・看護の実践において、活用することが期待される AI 技術にはどのようなものがあるか述べてください。

問２．問１で取り上げた AI 技術について、看護における利点と倫理的課題を論じたうえで、AI 技術を看護実践の場面で活用する場合、看護職に求められる役割について述べてください。

（解答は解答用紙へ記入すること）

問題２．これまでにあなたが経験した看護（状況・判断・介入および評価）を１つ紹介し、次に示す「ICN『看護師』の定義」を用い、看護師の役割と専門性について考察してください。

著作権の都合上、掲載を差し控えております

（公益社団法人日本看護協会訳、2025 年）

（解答は解答用紙へ記入すること）